

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話: +81-45-717-8575

中国ニードルコークス市場の近況

(2022年6月上旬)

1. NC 価格

6月上旬のニードルコークス（以下、「NC」）市況は安定していた。NC下流のメーカーではNCを大量購入せずに生産計画に合わせて調達している。国産NC価格を表1に示す。

石油系NCの輸出価格は1トン当たり2,600~2,900ドル（34.92~38.95万円）だった。NCの輸出入価格を表2に示す。

表1 中国国産NC価格（2022年6月10日現在）

	人民元（元/トン）	円換算（万円/トン）
石炭系	12,500~14,500	24.94~28.93
石油系	13,800~15,500	27.53~30.92
石炭系、石油系 生コーラス	9,500~11,500	18.95~22.94

注：1元=19.95円で換算。

出典：ICC 資訊整理

表2 輸出入NC価格（2022年6月10日現在）

		米ドル（米\$/トン）	円換算（万円/トン）
輸入石炭系	日本	1,900~2,000	25.52~26.86
	韓国	1,850~1,950	24.85~26.19
輸入石油系	日本	2,800~3,200	37.61~42.98
	イギリス	2,100~2,400	28.21~32.24
輸入負極用		1,200~1,500	16.12~20.15
輸出石油系		2,600~2,900	34.92~38.95

注：1米ドル=134.32円で換算。

出典：ICC 資訊整理

2. NC 原料市場

6月に入り原材料のコールタールピッチ価格が下落し、石炭系NCメーカーのコストが低下した。その一方で国際原油価格の高騰や中国国内の供給逼迫でスラリオイル価格が上昇し、石油系NCメーカーではコスト高が続いている。

3. NC 下流市場

NC下流の黒鉛電極市場では大手メーカーの価格は安定しているが、中小メーカーの一部は取引の低迷から1トン当たり500~1,000元（1.00~2.00万円）値下げした。黒鉛電極メ

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話: +81-45-717-8575

メーカーは仮焼コークスを短期的な生産計画に合わせて購入する見通しである。

6月上旬、負極材料メーカーの生コークス調達意欲は低く、主に在庫原料を消費した。しかし今後はリチウムイオン電池市況が改善し、負極材料の需要回復し、生コークス市場の好調が予想されている。

4. NC 市場見通し

メーカーの生産再開や生産量を増加するには石炭系原料価格の下落は有利だが、NC 製品への価格反映にはまだ時間がかかりそうだ。

黒鉛電極市場の仮焼コークス需要は低迷している。加えて黒鉛電極の値下がりが上流の仮焼コークスに影響を与え、仮焼コークス市場の価格安定が難しくなる見通しである。

生コークスは下流市場で需要が堅調で、短期的には価格が安定すると予想されている。

情報源: ICC 資料より整理作成。